平成25年1月（新年号）

コミュニティ大宮だより

絆（きずな）

【大宮公民館だより・
大宮地区社協だより合併号】

No.4

（ふれあいフェスタで防災の講話を聴く池内小児童）

「ふれあいフェスタ」

池内小児童会

十一月一八日（日）にふれあいフェスタがありました。午前中は地域の方々、ボランティアの方々と一緒に昔の遊びや戦争についての話、点字の学習などをしました。午後からはバザーや、お父さんお母さんが開いてくださった模擬店でカレーやうどんなどを食べました。その後、保護者や地域の方々も一緒に防災について考えました。地震のときは、物が落ちてこない・倒れてこない場所に避難すること、津波に備えてより高い場所に逃げることを学びました。

次に、「絆作戦」です。地域に呼びかけて集めてきたベルマークの集計作業を行いました。一人一人の力は小さいけれど、みんなで力を合わせると大きな力になっていくことを実感しました。

今回集めたベルマークは郵便局から東日本の震災地へ送ることになりました。これからも続けていきたいと思いました。最後に、このような経験ができたのは地域の方々や保護者のみなさんのおかげです。ありがとうございました。

２～８ページ：大宮地域まちづくり推進委員会
９～12ページ：大宮地区社会福祉協議会　13～14ページ：大宮公民館
15～16ページ：特別寄稿～「埋蔵文化財について」
【徒然草】【編集後記】

発行人：林田　光雄　　編集責任者：山口　泰孝
大宮地域まちづくり推進委員会事務局（TEL＆FAX:0985-31-3433）
宮崎市立大宮公民館　（TEL:0985-20-3509・FAX0985-38-5927）
大宮地区社会福祉協議会　　事務局（TEL＆FAX:0985-29-3791）
大宮地域事務所　　（TEL:0985-26-1120・FAX:0985-29-0807）
この冊子は地域コミュニティ活動交付金を活用して作成しました。

新年の御挨拶

『新年の御挨拶』

大宮地域自治区
地域協議会

会長　長峰　繁輝

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年は、前年に起きた東日本大震災という未曽有の災害から、「コミュニティや地域の絆の大切さ」をあらためて認識した年でもありました。地域のつながりは、まちづくりの原点でもあります。

当大宮地区でも、まちづくり推進委員会が7つの部会「防犯・防災」「地域福祉」「環境保全」「スポーツ・健康」「地域文化」「学校支援」「総務・広報」を作られ地域のみなさんが一緒になって、すばらしい事業活動が行われています。
これからも、安全・安心のまち、共に支えあう福祉のまち大宮を目ざして頑張りましょう！

『一年を振り返って』

大宮地域まちづくり
推進委員会

会長　林田　光雄

明けましておめでとうございます。
地域の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
私ども、大宮地域まちづくり推進委員会も、順調に運営されており、これもひとえに皆様のご支援、ご協力の賜物と深く感謝いたしております。
さて、昨年は「地域と学校の連携促進事業」をより活発にするため今までの「学校・地域社会連携部会」を大宮地区の有形・無形の文化財掘り起しを行う「地域文化部会」と学校支援を積極的に行う「学校支援部会」に分けて取り組むこととなりました。
それによって部会は「防犯・防災部会」「地域福祉部会」「環境保全部会」「スポーツ・健康部会」「地域文化部会」「学校支援部会」「総務・広報部会」の七部会となりました。
今年も各部会とも、精一杯がんばりますので、よろしくご協力をお願い致します。

『新年の御挨拶』

大宮地域事務所

所長　橋口　浩子

大宮地域の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。
平素より、大宮地域のまちづくりに絶大なご支援・ご協力いただき、心からお礼申し上げます。
昨年４月に大宮地域事務所に着任して以来、ふれあい文化祭や健康フェスタなどさまざまな行事に参加してきましたが、本当に多くの皆様のご尽力に支えられていることを痛感しております。
さて、本市は、大正13年(1924年)、宮崎町、大淀町、大宮村が合併して誕生しました。来年は、市制施行90周年を迎えます。今年は、その節目に向かって、大宮地域の魅力を再発見する絶好の機会ととらえて、このまちに住んでよかったと思っていただけるようなまちづくりに、皆様と一緒に、取り組んで参りたいと考えております。
今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

大宮地域まちづくり推進委員会

『防犯・防災部会』　　部会長　田山地　章志

　新年おめでとうございます。　日頃は大宮地域の防犯・防災活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

　さて、早いもので私が部長になり三年を経過しようとしております。その間、平成２３年１月１９日に噴火した霧島・新燃岳では、空港閉鎖、高速道路通行止、降灰による農作物被害と県内には相当な影響があり、その余韻もさめぬうち３月１１日に発生した「東日本大震災」では、２万人近い死者・行方不明者が出ました。自然災害はいつ、どこで起こるかわかりません。

　近い将来発生すると言われている「南海トラフ」、ここ宮崎県でも相当な被害が予想されています。また、台風による災害も心配するところです。

　その様々な被害を最小限にとどめる為に、私たち防犯・防災部会では各自治会を通じて防災訓練を支援し、避難経路を確立するのに役立つ防災マップを作成、いざという時に役立つ「ソナエあればウレイなし」と活動を続けております。

　また、防犯におきましては学校との連携により、登下校時の子どもたちの安全を確保するために９地区にあるパトロール隊（見守り隊）のサポートをしております。

　今後、継続事業以外にも皆様方のご意見やご要望を参考にさせていただき、新規事業にも取り組みたく思いますのでよろしくお願いいたします。

防災倉庫機材の取扱訓練
機会があれば自治会行事で使うことが大事

退路を背に勇気を持って消火器操作

起震車体験
激しい揺れにテーブルにしがみつきました。

帰宅児童の見守り活動　右側一列で！

大宮地域まちづくり推進委員会

『地域福祉部会』

部会長　川　﨑　　守

私たち地域福祉部会は「地域の住民が共に助け合い、支えあう思いやりのあるまちづくりや高齢者等の福祉の増進を図ること」などを目的に大宮地区社会福祉協議会との共催で４つの事業を実施しております。

「高齢者福祉講習会」は、『認知症とその予防』をテーマに井上病院院長の井上雅文先生による講演会を実施しました。これまでにない210名のご参加をいただき、身近な問題として関心も高く意義のある講演でした。

また、大宮中学校の吹奏楽による素晴らしい演奏に「楽しかった」「元気が出た」との声もあり大変感激されておりました。

「ふれあいサロン」を新規事業として計画したところ４グループの応募があり、すでに３グループが実施し、残りの１グループも今年度中に実施いたします。

「安心カード」は継続事業としてカードの配布拡大を推進しておりますので、ご希望される方は近くの民生児童委員、地区社会福祉協議会、まちづくり推進委員会事務局にお問い合わせください。

「福祉マップ推進事業」は、大宮地区内の災害時における避難場所等の情報を掲載したマップを、まちづくり推進委員会地域福祉部会、地区社会福祉協議会、大宮地区地域包括支援センターの共催で作成いたしました。すでに自治会を通じて全戸に配布しております。

今後とも「まちづくり推進事業」に、ご参加ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「高齢者福祉講習会」井上雅文 院長の講演

講演の後は大宮中吹奏楽部の演奏を楽しみました。

安心カードは継続中です。福祉マップも発行しました。必要な方は申し出てください。

今年はふれあいサロンを4ヶ所開設しました。和やかな雰囲気の中でお手玉づくりをしました。

大宮地域まちづくり推進委員会

『環境保全部会』

部会長　中武　和孝

「新別府川よ。あなたは知っていますか？一級河川であるあなたの堤防や法面、そして川面近くまでの草刈りを地域の人がボランティアで行っていることを・・・」

この新別府川は大宮地区の北部丘陵地・池内にその源を発し、市街地東部を南に流れ、一ッ葉入江に流入する一級河川です。

当初、北部の池内を除き、草が覆い茂り、川面がほとんど見えない状況でした。そこで環境保全部会では、地域の憩の場を創るために、その水辺づくり事業を平成２１年から年２回行っています。労力を伴う作業に、地域振興会や地縁団体の方々にたくさん参加していただき、地域力と皆さんの自然への思いやりを感じています。

初夏、北部池内ではホタルが飛び交っています。「新別府川よ、きっと来ますよ。魚がたくさん泳ぎ、ホタルが乱舞し、子どもたちが川遊びできるその日が・・・」

新別府川草刈りに参加した
ボランティアの方々

道具持参で黙々と作業

草刈り前の草が生い茂る新別府川

川面の見える新別府川が蘇りました。

大宮地域まちづくり推進委員会

『スポーツ・健康部会』　部会長　小岩屋　敏

あけましておめでとうございます。

昨年６月２４日に予定していた「大宮地区ウォーキング大会」は、残念ながら雨天中止となりました。楽しみにしていた方々にはたいへん申し訳ありません。来年度は時期の設定を再考したいと思います。８月５日の「大宮地区スポーツ・健康フェスタ」は時折小雨のぱらつく天候でしたが、約３００名の参加者で賑わいました。東大宮地区との共催を含めると既に４年目となり、健康を考える「地域の定例行事」として定着してきたと感じています。ただ８月の体育館内は暑いので、これも時期を変えたほうがいいかなとも考えております。

次の行事は、１月２０日の「宮崎市地区対抗駅伝大会」と２月３日の「大宮地区グラウンドゴルフ大会」。駅伝大会は、大宮地区の一般選手と地域の大宮中学校・小学校（今年は大宮小）の選抜選手がタスキをつなぐ、年に一度の機会です。昨年の第２８回大会では男子チームが初めて３位入賞を果たしましたが、今年は更に上を目指して男子２チームと女子２チームが出場いたします。地域の皆さん、ぜひ大勢応援に来て下さい！（スタート10時。生目の杜運動公園周回コースを走ります）

スポーツ・健康フェスタ

古賀総合病院のスタッフのご協力をいただきました。

フェスタでの金魚すくいみんなで楽しみました。

昨年の駅伝大会

今年もたくさんの応援をよろしく！

グラウンドゴルフ大会　　今年もやります。（写真は昨年の大会）

大宮地域まちづくり推進委員会

『地域文化部会』

部会長　瀬ノ口　隆宏

明けましておめでとうございます。

まちづくりの地域文化部会では、①大宮小学校の明治時代の校舎完成記念碑の解説看板の設置、②「六月踊り」「宮崎城址音頭」の小学校への支援、③地域まちづくりの歴史書の作成の３つの事業を計画し進めてきました。

① は新聞等でも御存知かと思いますが、6月２５日に設置しました。大宮小学校の歴史を知るとともに、この私たちの大宮地区の歴史を知る手掛かりとなっています。

② はこの地域にある文化財のひとつである「六月踊り」「宮崎城址音頭」が、大宮小学校、池内小学校の運動会で小学生に踊られています。これからもこれらを受け継いでいきたいものです。

③ の地域まちづくり歴史書の作成については、2ヶ月毎に例会を設け、資料の収集や編集の仕方等について話し合っています。資料の中に昭和初期の宮崎神宮周辺の写真があり、神宮町の畑や、弦月池の様子、また宮崎神宮の杜の後ろは田んぼが続いている様子など分ります。これらの写真をもとに、1月には冊子の原案ができればと思っています。

部会として予定通りに進んでいることをお知らせします。

大宮小校舎完成記念碑の解説看板除幕式

池内小学校で「宮崎城址音頭」

大宮小運動会で「六月踊り」

地元有志から提供いただいた皇宮屋前
「六月踊り」奉納写真
（部会では昔の写真を集めています。ご協力をお願いします。）

大宮地域まちづくり推進委員会

『学校支援部会』

部会長　時任　孝俊

大宮地域の皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、学校支援部会では、現在、小・中学校教育を支援するために地域が連携して次のような取り組みを行っています。

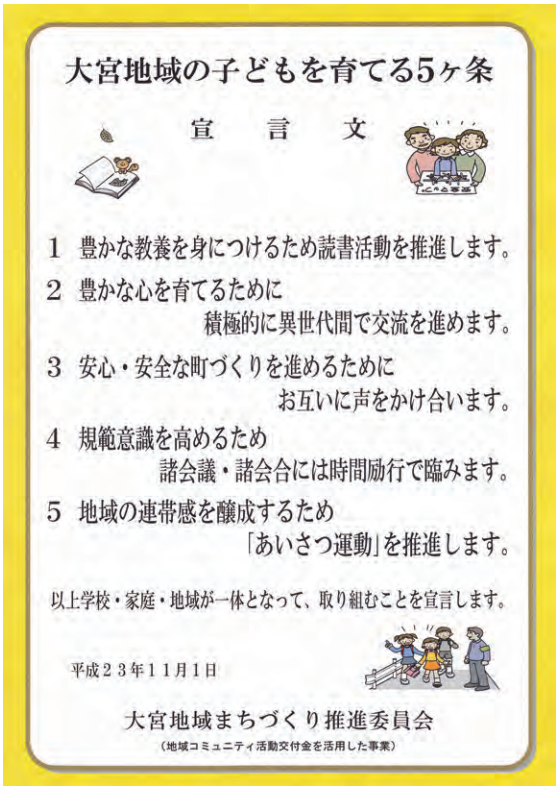
1．学校と地域が一体となったあいさつ運動を進めています。
2．学校の様々な教育活動に地域の人材活用を積極的に図り、側面的に学校支援を行っています。
3．「大宮地域の子どもを育てる５ヶ条」の推進を地域あげて取り組んでいます。
4．「新成人」に対するまちづくり活動として成人式で成人者にアンケートを実施し、成人者に記念写真を贈呈します。

特に次年度は、「大宮地域の子どもを育てる５ヶ条」の推進について力を入れて取り組んでいきたいと考えています。具体的には、「読書活動の推進」「異世代間交流」「声かけ運動」「時間励行」「あいさつ運動」の５つの項目です。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いします。

児童とパトロール隊との対面式の様子

登校時の校門でのあいさつ運動の様子

次年度は、
「大宮地域の子どもを育てる５ヶ条」の推進に力をいれます。



大宮地域の子どもを育てる5ヶ条

宣　言　文

1　豊かな教養を身につけるため読書活動を推進します。
2　豊かな心を育てるために
　　積極的に異世代間で交流を進めます。
3　安心・安全な町づくりを進めるために
　　お互いに声をかけ合います。
4　規範意識を高めるため
　　諸会議・諸会合には時間励行で臨みます。
5　地域の連帯感を醸成するため
　　「あいさつ運動」を推進します。

以上学校・家庭・地域が一体となって、取り組むことを宣言します。

平成２３年１１月１日

大宮地域まちづくり推進委員会
（地域コミュニティ活動交付金を活用した事業）

大宮地区社会福祉協議会

〒880-0035　宮崎市下北方町下郷6101
TEL：0985-29-3791・FAX：0985-29-3791

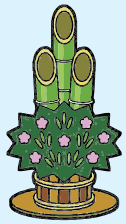
ともに助けあい 支えあう 福祉のまち 大宮

明けましておめでとうございます。

輝かしい新年をお迎えのことと思います。地域の皆様方にとりまして、今年が健康で和やかな語らいや楽しみがたくさんある1年でありますように心からお祈り申し上げます。

大宮地区社会福祉協議会も平成24年の9月に設立5周年の節目を無事迎えることができました。これも地域の皆様方や関係団体のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げているところです。

大宮地区社協は年頭にあたり、今後もこの5年間の実績を基に、スローガンの「ともに助け合い　支えあう　福祉のまち　大宮」にふさわしい、誇るべき大宮の福祉活動を目指して取り組むことを心新たにしました。地域の皆様方にも一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



（ 大宮地区社会福祉協議会の役員・理事・代議員・事務局員一同 ）

平成２４年度事業の推進状況を紹介します

福祉体験教室（大宮小）

大宮小学校では、あおぎり祭の体験活動コーナーの中に、「福祉体験教室」を大宮地区社協のこども福祉部で計画し、初参加させていただきました。

車イスの体験や手話・点字にふれたり、防災用品の展示、新聞紙でスリッパを作りタマゴパックの上を歩くガレキ体験、シールをはって答えるアンケートなど、楽しみながら福祉や防災を考える機会になったのではないでしょうか。

たくさんの子ども達と保護者の皆さん、中にはご家族で来室いただき、にぎやかで有意義なひとときになりました。

「また来年も来てね。」のことばに、元気をもらいました。

♥両校のご協力に感謝♥

アンケートコーナー（大宮小）

新聞紙でスリッパ作り（大宮小）

ガレキ体験（大宮小）

車イスで坂を下るときは、ゆっくり後ろ向きで進みます。実際に体験してみると納得です。

車いす体験（大宮小）

ベルマーク活動（池内小）

地震についての勉強（池内小）

ベルマークの仕分け作業中！（池内小）

池内小学校では、ふれあいフェスタの中で、東日本大震災の被災地への支援を目的に、ベルマークを集めて、みんなで整理し被災地へ届けるという活動が行われました。

こどもたち、PTA、学校関係の皆さんはもちろん、地域の皆さん、まちづくり推進委員会、こども福祉部(地区社協)も参加して、体育館でベルマークの仕分け作業を行いました。

皆さんのあたたかい気持ちと一緒に被災地へ届くことでしょう。

大宮地区社会福祉協議会

ふれあい会食会

みんなで近況を「しゃべろう会」（神宮町）

紙芝居で笑いと涙…（神宮西）

おいしい手作りカレー（平和が丘）

大好評だったお吸い物だしのきいた（下北東・西）

集会場で楽しく会食会（ダイアパレス）

夜は明るい色の服を着ましょう。（池内団地）

参加費の領収代わりの手作り作品が、毎回楽しみです。（花ヶ島新地橋）

＊現在までに　１２地区　１９開催

サロン開催

まちづくり推進委員会との共催でサロン活動に取り組んでおります。（本年度は4ケ所で開設）

市社協でもサロン活動を推進しております。誰でも参加できるお茶会から始めてみませんか！

平和が丘

福祉懇談会

自治会ごとに各団体が連携し、情報の共有・提供や福祉課題解決に向けて協議するのが福祉懇談会です。

すべての自治会で取り組んでいただきますようお願いいたします。

花ヶ島

＊現在までに　９地区開催

グランドゴルフ大会（H24.10.11）

毎年恒例になってきました「グラウンドゴルフ大会」。皆さんの元気な姿と笑顔があふれていました。
健康増進と交流親睦の趣旨が実現されていました。

今年から、安心してプレーを楽しんでいただこうと救護所を設置しました。

高齢者福祉講習会（H24.10.13）

まちづくり推進委員会との共催で認知症予防について井上病院　院長　井上雅文様（認知症サポート医）の講習会が行われました。

認知症とは・・・
・脳の大事な部分に障害が起きた状態です。
・難しい病気ではありません。予防が可能です。
・予防には、日頃から栄養・運動、知的活動に積極的に取り組み、決して引きこもらない！

講演も吹奏楽（大宮中）も大好評

大宮地区社会福祉協議会

大宮地区社会福祉協議会の福祉協力員　１５０名に達す

～　大宮中学校区２０の自治会すべてに協力員が誕生しました　～

福祉協力員はどんな活動をしているの？

①　近所に住んでおられるお年寄りや手助けを必要とする人たちへのあいさつ、声かけ、見守り
②　見守り活動等で変化に気づいた場合、自治会役員・民生委員児童委員への連絡・報告
③　自治会で行っている福祉懇談会やふれあい会食会などへの協力
④　その他、地域福祉活動（研修会を含む）への参加
　※ 福祉協力員のことで、お尋ねしたいことがあれば、
　民生委員児童委員又は自治会長へ連絡してください。

大宮地区福祉協力員の研修会を開催

１１月１７日（土）大宮公民館において、１３０名余の参加のもとに研修会を行いました。
①　孤立死（孤独死）に関する講話
②　グループ協議
　６つのグループに分かれて話し合う（多かった意見）

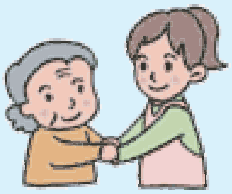
☆　日ごろのあいさつから声かけや見守りができる。
☆　地域の行事にもっと関心を持ってほしいし、参加すれば地域住民とのきずなが深まるのではないか。
☆　訪問販売が横行している。安易に応対しない。
☆　自分の地域の誰が福祉協力員なのか、住民へ知らせる。

孤立死（孤独死）が多発しています

宮崎市内では過去４年間で119件の孤立死が発生しております。　（以下、市社会福祉協議会の資料による）
＜年齢層＞　高齢者に多い。　60歳代（16名）　70歳代（22名）　80歳代（39名）
＜世帯形態＞　一人暮らし世帯（109世帯）
＜居住形態＞　戸建ての持家（66世帯）　アパート・マンション（21世帯）
＜地域との関わり＞　地域の人とあまり関わっていなかった（49名）　あいさつ程度（32名）
＜発見者（複数回答）＞　近所の人（38名）　家族・親戚（28名）

孤立死を防ぐための対応、発生した時の対応

～　地域の方々の協力が何より必要です　～



①　特に一人暮らし高齢者とのコミュニケーション
　（あいさつ・声かけ・見守り・行事参加の呼びかけ）
②　新聞・郵便物の溜まり、夜間・昼間の電燈のつけっぱなしなどがある場合、速やかに、自治会長や民生委員児童委員、福祉協力員へ報告
③　日ごろの生活と違った変化に気づいたら、速やかに民生委員児童委員や自治会長、福祉協力員へ連絡・報告
④　大宮地区福祉マップ・安心カードの活用

大宮地区社会福祉協議会

ご存知ですか？　大宮地区地域包括支援センター

　介護保険制度により、全国に地域包括支援センターが設置されることになっています。
　宮崎市には、市の委託を受けて、現在19ヶ所の地域包括支援センターが設置されております。
　大宮地区地域包括支援センターは、県立大宮高等学校の南側（宮崎市北部老人福祉センター内の１階）に事務所があります。

地域包括支援センターは 何をするところなの？

☆　地域の身近な 高齢者相談窓口です　☆

○　高齢者一人ひとりの健康状態にあった介護予防を支援します。
○　要支援者に対するさまざまな相談に応じます。
○　高齢者の権利を守るための相談に応じます。
○　大宮地区社会福祉協議会や大宮地域まちづくり推進委員会などとの連携・協力により、地域とのつながりを強めます。
　＊　本年度は、すでに福祉マップの作成、大宮地区の各種団体が計画した事業への保健師派遣等の協力を得ることができました。

宮崎市大宮地区地域包括支援センター
〒 880-0056　宮崎市神宮東１丁目２番２７号
宮崎市北部老人福祉センター内
電話　0985 - 61 - 1789　　Fax　0985 - 61 - 1795

愛のご寄附

大宮地区社会福祉協議会への香典返しありがとうございました。
平成24年10月　寄付者　平田　　誠 様　（故　平田　悦雄 様）
故人様のご冥福をお祈り致しまして、いただきましたご寄附は、
大宮地区社会福祉協議会の活動運営に有効に活用させていただきます。

お　知　ら　せ

☆高齢者等の生活支援を考えてみませんか☆

　高齢者等生活支援モデル地域育成事業では、生活支援活動や、それを行うための体制づくりに必要な経費に対して助成を行っています。（2地区を募集）
　来年度に向けての準備に活用していただくことも可能ですので、地域の福祉課題解決に是非ご活用ください。
　内容
　　＊高齢者等の生活支援
　　（買い物支援・電球の取り換え・草取り等　日常生活の困りごと）
　　＊生活支援に関するニーズ調査等
　　＊団体及び組織づくりの推進
　高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を築くことを目的としています。

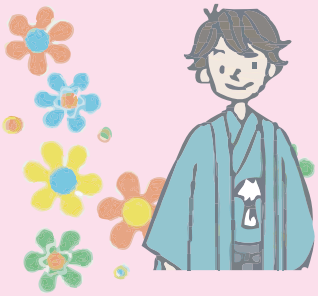
☆「のぼり」ができました☆

　大宮地区社会福祉協議会を広く認知していただくことを目的に「のぼり」を作成しました。サロンや福祉関係行事を行う時に活用していただきたいと思います。お気軽に事務局までお知らせください。

☆耐震棒がありますよ～☆

　大きさがＬサイズで、**取り付け高さ範囲が50㎝～70㎝**です。数に限りがありますが、希望される方はお気軽に大宮地区社協事務局へお越しください。一家族に2セットまでとさせていただきます。

大宮公民館だより



平成25年

大宮地区成人式

今年の新成人を祝うために大宮中学校にて成人式が開催されます。

成人式が地域で開催されることになって、早くも９回目を迎えます。地域の方々の温かな祝福や楽しいふれあいの中で開催される成人式は、心に残るものとなってきたのではないでしょうか。そして、新成人の方々がいずれはこの地域に戻って活躍してくれることを切に願っています。

大宮地区成人式日程

日時：平成２５年１月１３日（日）
　　９時より受付開始

場所：大宮中学校　体育館

成人式の流れ（予定）

・受　　付：　９：００～
・式　　典：１０：００～
・地区行事：１０：４０～

平成２５年度　前期大宮公民館講座のご案内（予定）

☆25年度の前期公民館講座の受付について☆

平成２５年度の前期講座の詳しい内容、申し込み方法については、３月下旬から４月初旬ぐらいに宮崎市より各家庭に配布される「前期公民館講座案内」にてご確認ください。
（※開講講座は最終確認中であり、変更される場合もありますのでよろしくお願いします。）

講　座　名	講　師　名	定員	講　座　内　容	備　考
子育てサロン	曽山　喜美	２０組	音楽療法他に子育ての悩み相談など	教材費有
ヨーガ	山田　積子	２５名	無理のない動きで健康づくり	
パンづくり	未定	２０名	パンづくりの基礎からアレンジまで	教材費有
エクセル入門	松浦　洋美	１７名	エクセルの基本操作を学ぶ	教材費有
絵手紙教室	津曲　和武	２０名	楽しく絵手紙を作ります。	
バラと寄せ植え教室	濵砂久美子	２０名	花木と草花の楽しみ方を学ぶ	教材費有
子ども体操教室	黒木えい子	２５名	音楽に合わせてのダンスや体操	
夏休み子ども書道	矢野　一男	２０名	夏休みの宿題の作品作成に！	

お疲れさまでした！ 平成24年度大宮地区ふれあい総合文化祭

平成２４年１１月３日（土）に、大宮地区ふれあい総合文化祭は秋晴れの中、盛大に行われました。地域の皆様方には前日の会場設営などの準備から終了時の後片付けまで、大変お世話になりました。おかげさまで大成功にて無事に終えることが出来ました。これもひとえに皆様方の温かなご支援とご協力の賜だと公民館一同、深く感謝いたしております。

★作品展示の様子★

★芸能・学習発表の様子★

★外会場テントの様子★

本当にありがとうございました。これからも、地域に開かれた公民館として活動してまいりますので、皆様方のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

特別寄稿

「埋蔵文化財について」

宮崎県埋蔵文化財センター 普及資料課長　**近藤　協**

総合博物館と民家園の間に「宮崎県埋蔵文化財センター(分館)」の鉄筋２階建、煉瓦造り風の茶色の建物があるのをご存知でしょうか？　神宮の森に囲まれ博物館の裏手にあるので、大宮地区の皆さんでもご存知ない方が多いかもしれません。 昭和57年に建てられてから、今年で30年を経過するベテラン建造物ですが、総合博物館の一部と勘違いされたり、玄関がいかめしいので入ってはいけない怪しい建物・・・などと思われて今一つ認知度が低いのが残念です。「埋蔵文化財」という単語自体が難しいですよね。考古学の関係者も他に何かよい言い方が無いものか・・・と永年悩んでいる言葉です。入館者は年間約5,000人、県民の皆さんはもとより全国各地から訪れていただいています。

展示室（１階）

たまには外国からのお客さんも・・・リュックを背負ったドイツ人の男性を宮崎神宮までご案内したこともありました。年末年始を除いて年中無休で、土日も開いてます。入館は無料、県内各地の遺跡から発掘したての遺物と"埋文センターの仕事"の展示がメインで、土器の復元作業を生で見ることもできます。また、通常は公開していませんが、２階の収蔵庫には県が30年以上に渡って発掘調査してきた県内各地の遺跡の遺物（土器、石器、鉄器など）がコンテナで約１万箱保管されています。佐土原町下那珂にある埋蔵文化財センター本館の収蔵庫分と合わせて約２万２千箱が宮崎県の過去を記憶する県民共有の考古遺産ということになります。これらの考古遺産を展示や講座を通じて活用することが発掘調査と同様に私たちの仕事です。

収蔵庫の内部（２階）

宮崎県埋蔵文化財センター(分館)

現在、センターでは来年度に開催予定の"みやざき発掘100年"および"東九州自動車道の発掘調査成果"に関する特別展に向けて土器の復元、修復作業を急ピッチで行っているところです。バラバラで出土した土器の破片を、パズルのように立体に組み立てたり、足りない部分を補てんする作業です。破片の無い部分には石膏や樹脂を充填して成形します。歯医者さんが義歯製作の型取りに使用する硬石膏を数年前まで使っていましたが、今ではより軽くて耐久性があり切削の容易なプラスチック樹脂を使うことが多くなっています。

発掘体験ののようす

修復作業の様子

さて、復元作業を永く続けていると、時々、土器の表面や内側に当時の人々の指の跡や希には指紋までが残っている例に遭遇します。こんな時には数百年あるいは数千年の時空を超えて？・・・粘土を捏ね土器を成形している女性の姿（土器の成形は主に女性の仕事であったと考えられています。）が脳裏に浮かんだりします。使い込まれた石庖丁を手にした際には、働き者の弥生時代のおばあちゃんの姿が浮かんできたこともありました。・・・これも私の勝手な想像であり、創造ですが・・・。土器作りにも上手下手があって あまりに端正な作りの土器を目の当たりにして"きっと几帳面な性格だったのでしょう。いい仕事してますね。"と心の中で遠い先祖に話しかけることがしばしばあります。まさか、数百年、数千年後に自分の作

った土器や石器がこうして批評されようとは夢にも思わなかったことでしょう。遺物に触れていると日本という国がまだ影も形もなかった遠い時代から、この列島に住む人々の真面目さ、勤勉さ、律儀さまでもが伝わってくるような気がします。これもこの仕事の醍醐味の一つかもしれません。

身の周りに神話、伝承に因む名所・旧跡や遺跡がたくさんある大宮地区のみなさんの中にも私と同じように感じられる方がいらっしゃるのではないでしょうか。大宮地区には貴重な遺跡がたくさんありますね。埋文センターの周辺だけでも下北方古墳群を筆頭に下郷遺跡、垣下遺跡、大宮中学校校庭遺跡、池内横穴墓群などなど。例えば、①平和の塔の真裏には前方後円墳があって円筒埴輪、形象埴輪が出土している。②宮崎神宮の本殿のすぐ裏側（北側）は全長76.8m、高さ８mの前方後円墳（船塚古墳）がある。③下北方5号地下式横穴墓からは鉄製の短甲（よろい）や直刀とともに朝鮮半島製の純金製耳飾が出土している。④大宮中学校の校庭からは弥生時代の土器片がどっさり出土した。⑤大宮中学校正門前の道路を隔てた住宅地一帯が下郷遺跡で吉野ヶ里遺跡（佐賀県）と同じような二重の溝に囲まれた環濠集落であった等々・・・とにかく下北方の台地全体と周辺の低地は密度の濃い遺跡の宝庫なのです。悠久の歴史を刻み、育んでいる大宮地区にある施設として埋文センターも地域のお役に立ちたいと願っています。まずは、散歩のついでに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。声をかけていただければ、いつでもご案内、解説をいたします。

石庖丁(宮崎市下那珂遺跡)

玉類と耳飾り
（下北5号地下式横穴墓）
宮崎市教委蔵

【徒然草】

仕事柄、社会福祉協議会のお手伝いをする機会が多い。高齢者に関する研修会もその一つだ。介護の問題、認知症の問題・・・などなど、講師を招いてお話を聞く。いつも介護する側の心得を教えられ、個々の悩みの相談・質問を聴いていた。ある日ふと思った。「介護される側って何を思い、何を考えているのだろう？」と。そんな時、偶然知った「歌」があった。ご存知の方もいるだろう・・・樋口了一の『手紙～親愛なる子供たちへ～』という歌だ。良かったら、皆さんにも聴いて欲しい。今はネットでも紹介されている。ただ、とても重たい歌詞だ。『人は老いて子どもへ返り、いろいろな事が出来なくなっていく。そしてそのためにほんの少しでいいから貴方の手を貸して欲しいと・・・』私事ながら父が数年前からパーキンソン病を患っている。帰省するたびに、少しずつ出来ない事が増えていく父を見るのが辛かった。時には食べ物をこぼす父に「どうして出来ないの？」と声を荒げそうになった事もあった。たまにしか会わない自分でさえそうだ。毎日看ている母や義姉の苦労を思った。介護の現実が自分の家にも起きた。真面目に仕事をし家族を養ってきた父だった。今、不自由な身体で一生懸命生きている父を見ながら、後悔と自己嫌悪の日々だった。赤ちゃんが食べ物をこぼす、親は「あらあら」と笑いながら拾って食べる。自分もそうやって育ててもらった。同じ事が今、父に起こっているだけなのに。

人は最後の日まで尊厳を持って生きる権利がある。そんな当たり前の事に気づかせてくれた歌だった。今年も出来るだけ多く帰省しよう。両親の残りの人生に少しでも親孝行というお返しをしよう。いつか必ず来る別れの日のために・・・。綺麗事で介護なんか出来ない。それでも『介護される側』の人たちが、幸せな人生だったと言える終焉を迎えられる「大宮まち」になるといい・・・そう、年頭に祈った。

（介護に身を置いておられる全ての方々に心からの敬意を・・・どうか、ご自愛下さい）

『編集後記』

一年が過ぎると「早かったねぇ～、あっと言う間の一年だったわ」という声を聞きます。歳を重ねる程その感が強くなる、と言います。とある情報で、それは当り前だと読んだ事があります。５歳の子には一年は人生の５分の１です。しかし、８０歳になると一年は、自分の生きてきた人生の８０分の１でしかない。そのスピードを実感として感じるからだ・・・そんな説明でした。さて平成２４年は皆様にとってどんなスピードの一年でしたか？　顔ぶれの新しくなったコミュニティ大宮の職員たちが、少しでも記憶に留まっていると嬉しいのですが・・・職員一同、今年もどうぞ宜しくお願い致します。（S）